



JAゆり葬祭センター 広報誌

第4号

平成25年
12月1日

かけはし

瀧つぼを出でて流るる 川水の

幅ひろければ 涼やかにゆく

賀祥山禅林寺 第四十世 山中律雄



にかほ市 元滝 (撮影/佐藤正人)



この人に聞く

第4回

賀祥山 禅林寺 山中 律雄 氏
第40世 (にかほ市院内)

歌人として、秋田魁新聞やNHKで選者や講師としても活躍されているご住職にお話を伺いました。

——たいへん古いお寺のようですが、お寺の歴史を教えてください。

前身の「迦葉庵」は、真言宗で天長年間（八二四―八三三）に創建され、応徳二（一〇八五）年の頃、由利地域一帯を治めていた由利太郎維安これやすにより開山されたと伝えられています。その後、応永年間（二二九四―一四二七）に加賀（石川県）大乘寺明峰派の直翁呈機じきおうていきが、

曹洞宗に改宗・開山しました。山号の賀祥山は迦葉庵に由来し、「かしようざん」と読みます。その後、由利十二頭仁賀保氏の祖・大井伯耆守友拳の菩提所となり、二公の盛栄とともにしてきた歴史があります。県内の曹洞宗でも古いお寺であるといえますね。

——歴代のご住職の中には、漢詩人として有名な方がいらつしやると聞きました。ご方丈が短歌を詠まれるのは血筋ですか。これまでの経歴をお伺いします。

先代の父は津軽、母方の親戚は横手ですので、血筋はありません。短歌は学生の頃から始めました。

昭和五十六年に同人誌「創作」で新人賞を受賞。昭和五十九年に「運河の会」に入会し、川島喜代詩氏に師事しました。ちなみに、当寺には師匠の詠まれた歌碑があります。

大寺は山を負へれば朝聞けて

わが身あづけんしづけきにあり

平成十三年、歌集「刻ゆるやかに」（角川書店）で秋田県芸術選奨・日本歌人クラブ東北地域ブロック・最優秀歌集賞を受賞。平成二十一年、歌集「変遷」（角川書店）では第五回日本詩歌句大賞を受賞しました。

現在は、現代歌人協会会員、日本歌人クラブ会員に所属しています。最近、NHK学園短歌講座講師や友の会選者、秋田魁新報の読者文芸・短歌選者を務めており、趣味の短歌が仕事になってしまいました。

——短歌の良さは何ですか。

無常の世の中であって、時はとどまることを知らず流れていきます。そんな時、立ち止まり短歌を詠むことで、新しい発見が出来るようになったと感じます。

「短歌を詠むことで新しい発見が

出来るようになったと感じます」

——一番の思い出は何ですか。

平成十九年の宮中歌会始うたかいはじめに全国二万首の中

から選考される十首のひとつに選ばれたことです。天皇・皇后に御拝謁できたことは、夢のような出来事でした。その時のお題は「月」です。

映像に見し月山の朝のあめ

昼過ぎてわが町に移り来

——三十一の文字に過ぎませんが、情景とともに感動が広がりますね。短歌に興味が出てきました。

短歌は、五・七・五・七・七の型にはめるだけで、紙とペンさえあればどこでもできます。まず、書くよるこびを知ってほしいと思います。そして、仲間で詠みあい共感することで、さらによるこびは深くなります。短歌の楽しさを多くの方にわかってほしいですね。

——これからも様々な面でお世話になると思いますが、JA葬祭についてご意見などありましたらお願いします。

「JA葬祭は人と人の繋がりを

強化する活動に取り組んでみたらどうか」

JAという組織には、人と人の結びつきを育てる役割があると思います。町の葬儀屋は葬儀をこなすことだけで精いっぱいでしょうが、JA葬祭には、元気なうちから人との繋がりを強化するための活動に取り組むことを提案します。たとえば、葬祭ホールの空いている日には「カルチャー教室」を開いてみたらどうでしょうか。短歌教室なら喜んでお手伝いします。

——貴重なご意見ありがとうございます。

※歌集より

移ろへる時間に運速があるごとく

足早に人がわれを追ひ越す

新しき人づきあひにとまどひて

子の運動会にひと日を過ごす



ガラス戸に残れる子らの手の跡を

拭きをりかつて父もなししか

草はらを渡れる風の裏おもて

楽しむさまに黄の蝶が飛ぶ

残さるるひとりの日々は寂しからん

つやの夜叔母がみ骨に言ひき

第2回終活セミナーを開催しました。

講師は、司法書士 工藤 亨氏にお願いし「知っておくと安心 家族が亡くなったときの手続きについて」と題してのご講演です。

相続に関することや遺言書の書き方など、実例を交えて解説していただきました。聞きなれない法律用語のため、やや戸惑った方もいらつしやいましたが、多くの方々より高評価を得ることができました。また、これを機会に自分も遺言書を書いてみようと思われた方が6割もいらつしやいました。

前回から引き続き参加された方も多く、機会があったら、別のテーマのときもぜひ参加したいという感想を頂き、主催者としてうれしく思いました。

終活セミナーとは、死だけをとらえたものではありません。今日からその日までの過程をどのようにして生きていくか。そのためのセミナーです。参加者の皆様と一緒に、これからの高齢化社会の文化を築いてみたいと思います。



参加者のご感想

● 相続については何も解らなかったのですが、少し解りもっと勉強したいと思いました。

● 大変解りやすくお話を聞きました。時間があつという間に過ぎ、短く感じました。

● なかなかこのような話を聞く機会がなくセミナーを開催していただいたことに感謝します。

● 今後もセミナーがあれば参加したいと思います。

JA葬祭みどりの会 会員募集中

入会金10,000円で終身会員となり、ご家族（同居）どなた様でも特典をご利用いただけます。

お問い合わせ・申し込み

(株)ジェイエイゆり葬祭センター 又はお近くのJAへ！

第8回

人形供養祭開催

平成25年9月29日



秋晴れの清々しいお天気のもと、人形供養のため、今年も400名を超える方々にご来場いただきました。今後とも是非ご利用くださいませ。

参加者の感想

● 孫も大きくなり、人形を

どうしたらよいか困って

いました。こういう機会

があると大変助かります。

● 地域にこうした場を提供

して下さることに感謝し

ます。

● 毎年、開催されていると

は知りませんでした。知

人にも教えて

あげようと思

います。



当社のホームページもご覧下さい

ゆり葬祭

検索

当サイトはスマートフォンでもご覧いただけます。



上記のQRコードを読み込んで頂くか、<http://www.yuri-sousai.jp>へアクセスしてください。


 福もりあふれる心のセレモニー...
ジェイエイゆり葬祭センター

花環・盛篋・生花のご注文

メールでのお問い合わせ
0120-2468-08

年中無休 24時間対応

よくあるご質問 | 葬手続き便利帳 | お葬儀のマナー | 会社概要

ご葬儀プラン | ご法要プラン | お客様の声 | ご葬儀の流れ | 虹のホールゆり施設ご案内 | 仏具ご紹介

葬儀儀式のすべてをおまかせください。

(株)ジェイエイゆり葬祭センターは365日24時間体制で対応しております。ご自宅・ご寺院での葬儀などどんな規模でも安心しておまかせください。

年中無休 24時間対応
0120-2468-08

「やってはいけないこと」

マナー違反にならないよう心がけましょう。

✖ 葬儀に遅刻する

開始時間の案内通りに到着するようにしましょう。読経や弔事の最中に着席するのはできるだけ避けてください。すでに受付に人がいなくなってしまう場合は、香典を直接遺族に手渡します。



✖ 香典に新札を包む

結婚式では新札を使用しますが、お葬式では逆に失礼とされています。古くからの考え方で、新札を使うということは「前もって死を予期して用意していた」「待っていた」とされますので、注意しましょう。もし、新札しか手元にならぬという場合は、折り目をつけてお包みします。



✖ 遺族と長話をする

お葬式では、親しい間柄でない限りは、遺族に挨拶するのは控えます。あなたが参列したということが、弔意を表したということになりますので、無理に遺族を探して声をかける必要はありません。遺族と親しかった場合でも、長話をするのは控えましょう。遺族にゆっくりとお別れをさせてあげるためにも、お悔やみの言葉は、手短かに述べるのが基本です。



✖ 遺族へ死因を聞く

これは、最も配慮に欠ける行動です。くれぐれも悲しみを増長させるような言動は控えましょう。また、遺族の感情に訴えるようなオーバーな表現も慎みましょう。



✖ 知り合いを見つけて話しかける

お葬式では、お知り合いに会うこともあるかと思いますが、仕事の話や近況など、世間話をするのはマナー違反です。お葬式の間は、同窓会ではありません。遺族への最低限のマナーとして、私語は外に出た後からにしましょう。大きな声を出している方もたまに見受けられますが、場をわきまえていないと見られてしまいます。



✖ 小さなお子さんを連れていく

静かにしていられる年齢であればかまわないのですが、ぐずりやすい年頃の小さなお子さんは、近しい親戚でない限り、通常は同席させません。可能な限り、身近な方などに預かっていただくようにしましょう。



虹のホールゆり(会館)葬なら 心にゆとりが生まれます。

ホール ご利用の ご案内

会場づくりのため家中のかたづけ、大掃除が必要。



会館葬なら

参列者を迎えるだけの、全ての設備が備わっています。

ご近所の奥さんたちの手助けを借りる必要がある。



会館葬なら

私たちスタッフが細やかにサポートいたします。

実際に自宅葬を行ったご遺族に聞きました。

家中の暖房、冷房が大きな悩み。



会館葬なら

会館葬なら全館冷・暖房完備。

参列者の駐車場の確保、車の誘導等が必要。



会館葬なら

駐車場を完備。車の誘導の心配も不要です。

参列者はもちろん、お手伝いの皆さまへのお茶・食事大変。



会館葬なら

当館でお手伝いいたします。手助けの方たちの負担を軽くします。

手助けをしてもらった方々へのお礼やお返しが必要。



会館葬なら

ご近所の手助けをいただかなくてもよいので、気遣いがありません。

葬儀の後、日常生活への転換が大変。



会館葬なら

日常生活への支障をきたしません。

自宅葬だと
こんな
ご負担が...

★ご葬儀について、ご相談承ります。

ホールの見学を随時行っております。グループでホールを見学に来られる場合は、バス送迎しますのでお問い合わせください。

★にかほ市に新ホール オープンいたします。(平成26年12月完成予定)

お客様の声

まだ若くて何もわからず大変苦労しましたが、社員の方にとても良くしてもらい、大変助かりました。

〈S様〉

私達が気付かなかったことへの配慮や疑問なことへの対応もきっちりされて、とてもよかったです。今後ともよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。〈I様〉

事前の相談にも丁寧に対応していただきたいへんありがとうございました。〈I様〉

他社の葬祭ホールに参列してきましたが、御社の式場・設備・社員の教育、対応が良く、大変お世話になりました。〈S様〉

家族が近くに住んでいなかったのですが、どこかホテルを借りて通わなければと思っていましたが、布団の貸出や生活に困らない設備が整えられていて、ゆっくりと故人のお別れをすることができました。本当にありがとうございました。〈S様〉

編集 後記



短歌。凡人には理解しがたい小難しいものだと思つていましたが、初めて歌集をひもといてみると共感する歌に出会った時、心がぱっと開く感じがしました。これを機会に他の歌集も読んでみようと思います。

最近、詩歌がブームです。金子みすずの「こたまでしよるか」や100歳の詩人、柴田トヨの「くじけないで」は、私たちに生きる希望を与えてくれます。

詩歌は無ければ無くても困ることはありません。しかし、殺伐としたこの時代、人は魂を強く揺さぶる何かを欲しているのではないのでしょうか。

禅林寺ご住職より、ご提案いただいたカルチャー教室は、ぜひ実現したいと思ひます。短歌、生け花、写真や絵画などを賛同してくださる方、関心を持たれた方はご連絡ください。お待ちしております。(正)



(株)ジェイエイゆり葬祭センター

本店 / 〒015-0852 由利本荘市一番堰200-1

0120-2468-08

☎ 27-1718 FAX 27-1715

メールアドレス: jayurisousai@clock.ocn.ne.jp

JA葬祭 虹のホールゆり

由利本荘市川口字八幡前41-1

☎ 23-7716 FAX 23-7717

仁賀保営業所

にかほ市平沢字宮田37-1

☎ 62-8171 FAX 62-8172

年中無休・24時間受付